

2023 冬 困窮子育て家庭アンケートからの緊急提言

2023 年 12 月 認定 NPO 法人キッズドア理事長 渡辺由美子

キッズドアでは物価高騰の中で冬を迎えることを憂慮し、困窮家庭に対して、子どもの心身の状態や家庭の経済状況等についてアンケートを行い、約 1,800 件の回答を得ました。アンケートからは、これ以上家計を切り詰めることができない状況の中で、困窮対策や賃上げ施策の効果を実感できていない困窮家庭の深刻な状況が判明しています。困窮子育て家庭の命と学びが危機にさらされており、今すぐ、子どもと保護者の命を守る支援が必要です。キッズドアは、以下の緊急提言を行います。

- 困窮家庭は子どもの養育が十分できないほどに窮乏している。継続的な現金給付や子育て費用支援を。
- 児童扶養手当の所得制限のすみやかな引き上げが必要。また、児童扶養手当の期間延長・多子世帯への増額等によって、子育てへの継続的な支援を。
- 困窮子育て家庭にも波及するような賃上げ・就労支援が必須。特に、子育て家庭への十分な理解の上で、リスキリング支援、就労支援や休業補償を。
- 困窮家庭の不登校児童生徒は学びの支援につなぐりにくい。一時の不登校が一生続く負の連鎖を生み出してしまう。不登校と困窮の課題が重複している子どもへ、無料学習会の拡大やフリースクール・塾代の経費支援等の学びの継続のための支援を。
- 経済的な負担による不登校をこれ以上増やさないよう、すみやかに給食費無償化や就学援助の拡充等の負担軽減支援を。
- 困窮子育て家庭の意見を真に反映した政治や政策を。

以上